

四旬節第三主日（2025年3月23日）

※礼拝中に起立の部分がありますが、お体の悪い方はご無理をなさらず、着席のままです。

開会の部

前奏		
初めの歌	♪308“冠ささげ”(1, 2, 3, 4, 5 節)	
み名による祝福～罪の告白～ゆるしの祈願		式文1ページ
詩編交読	詩編63編	

※別紙をご覧ください。

グロリア パトリ / キリエ	式文2ページ
(※四旬節の期間、グロリアは歌いません。)	

みことばの部

祝福の挨拶	式文4ページ
-------	--------

主日の祈り

神様。御子の十字架の苦しみは、人知では到底はかりしることのできない御心と愛を表しています。恐れつつ、あなたを信じ、隣人を愛することができるよう、私たちを助け導いてください。
あなたと聖霊とともにただ独りの神、永遠の支配者、御子、主イエス・キリストによって祈ります。
アーメン

第1朗読日課	イザヤ書 55:1～9	(旧約 1152 頁)
第2朗読日課	コリントの信徒への手紙 1 10:1～13	(新約 311 頁)
詠唱		式文 5 ページ
福音書の朗読	ルカによる福音書 13:1～9	(新約 134 頁)
みことばの歌	♪64 “主イエスの十字架に”(1,2,3,4 節)	
説教	『悔い改めなさい』 北川逸英師	
信仰の告白	ニケア信条	式文6ページ

奉献の部

	※ 神への感謝です。ご用意のない方も感謝の心をささげてください。	
祝福の挨拶～奉献(献金)～奉献唱		式文7ページ
奉献の祈り		式文 8 ページ

聖餐の部

聖餐の歌	♪256 “姿は見えねど”(1,2,3,4 節)	
聖餐の序詞～サンクトゥス～設定		式文9ページ
主の祈り		式文10ページ
平和の挨拶～アグヌス・デイ～聖餐への招きと陪餐の感謝		式文11ページ

派遣の部

祝福の挨拶～ヌンク・ディミティス		式文13ページ
教会の祈り	吉田岩雄	
祝福		式文14ページ
終わりの歌	♪245 “神のみことばは”(1,節)	
後奏		

日本ルーテル教団 飯能ルーテル教会 責任教職 笠原光見牧師

〒357-0033 埼玉県飯能市八幡町 20-9
電話/Fax 042-972-5774

Mail: nrkhananno1517@gmail.com HP: <https://kirakira2020.jp/>
Facebook: www.facebook.com/飯能ルーテル教会

かみ かがみ さがもと
神よ、あなたはわたしの神。わたしはあなたを捜し求め

たましい かわ もと
わたしの魂はあなたを渴き求めます。

ま かわ だいち おとろ
あなたを待って、わたしのからだは乾ききった大地のように衰え

みず ち かわ は
水のない地のように渴き果てています。

いま せいじょ あお のぞ
今、わたしは聖所であなただけを仰ぎ望み

ちから さか み
あなたの力と栄えを見えています。

いつく いのち めぐ
あなたの慈しみは命にもまさる恵み。

くちびる
わたしの唇はあなたをほめたたえます。

いのち かぎ
命のある限り、あなたをたたえ

て たか あ み な いの
手を高く上げ、御名によって祈ります。

たましい み た
わたしの魂は満ち足りました

ちち ずい う
乳と髓のもてなしを受けたように。

くちびる よろこ うた
わたしの唇は喜びの歌をうたい

くち さんび こえ
わたしの口は賛美の声をあげます。

どこ つ みな とな
床に就くときにも御名を唱え

いのち くち よる す
あなたへの祈りを口ずさんで夜を過ごします。

かなら たす
あなたは必ずわたしを助けてくださいます。

つばさ かげ よろこ うた
あなたの翼の陰でわたしは喜び歌います。

たましい つ したが
わたしの魂はあなたに付き従い

みぎ み て ささ
あなたは右の御手でわたしを支えてくださいます。

かみ かがみ さがもと
神よ、あなたはわたしの神。わたしはあなたを捜し求め

たましい かわ もと
わたしの魂はあなたを渴き求めます。

ま かわ だいち おとろ
あなたを待って、わたしのからだは乾ききった大地のように衰え

みず ち かわ は
水のない地のように渴き果てています。

いま せいじょ あお のぞ
今、わたしは聖所であなただけを仰ぎ望み

ちから さか み
あなたの力と栄えを見えています。

いつく いのち めぐ
あなたの慈しみは命にもまさる恵み。

くちびる
わたしの唇はあなたをほめたたえます。

いのち かぎ
命のある限り、あなたをたたえ

て たか あ み な いの
手を高く上げ、御名によって祈ります。

たましい み た
わたしの魂は満ち足りました

ちち ずい う
乳と髓のもてなしを受けたように。

くちびる よろこ うた
わたしの唇は喜びの歌をうたい

くち さんび こえ
わたしの口は賛美の声をあげます。

どこ つ みな とな
床に就くときにも御名を唱え

いのち くち よる す
あなたへの祈りを口ずさんで夜を過ごします。

かなら たす
あなたは必ずわたしを助けてくださいます。

つばさ かげ よろこ うた
あなたの翼の陰でわたしは喜び歌います。

たましい つ したが
わたしの魂はあなたに付き従い

みぎ み て ささ
あなたは右の御手でわたしを支えてくださいます。